

検索の実行

重複レコードを除去する

タスク: 複数のデータベースを検索しているとき、初期設定では、重複レコードは除去されていますが、検索結果に重複レコードを含めるようにしたい場合は、いつでも設定を変更することができます。また、重複した際に優先的に残すデータベースの順番を変更することも可能です。検索結果の画面から、好みの優先順位を変更してください。

1. 検索の実行後、検索結果の画面が表示されます。2つ以上のデータベースを指定して検索している場合、画面の右欄には「重複するドキュメントの設定」リンクが表示されます。

重複レコードは、「重複アイテムを含める」をクリックするか、「カスタム設定」の画面で「重複ドキュメントを含む」がチェックされていない場合は、重複を除去するが初期設定になっています。

レコードが重複した場合のデータベースの優先順位を変更するには、「データベース優先順位を変更」をクリックしてください。

注意：重複除去の詳細については、「重複するドキュメントの設定」の アイコンをクリックします。

2. 「重複するドキュメント - 表示順序の設定」の画面で、重複した際にレコードを残すデータベースの優先順位を、番号で指定してください。データベースの優先順位は、マウスによるドラッグ & ドロップでも変更することができます。

順位の指定が終了したら、「優先データベースを適用する」ボタンをクリックします。

3. 検索結果の画面の3件目と4件目のレコードが、EMBASE から Medline に変更されました。指定したデータベースの順位が適用されると、画面の右欄に「優先データベースが適用されています」というメッセージが表示されています。

注意：指定した優先順位通り、検索結果には、MEDLINE のレコードが残るように変更されました。



【ProQuest Dialog の検索に関するお問合せは】

株式会社ジー・サーチ ProQuest Dialog ヘルプデスクまで
 営業時間：月～金（祝祭日を除く）9:00～11:50 / 13:00～15:00
 Email：gsh-help-dialog@cs.jp.fujitsu.com
 Tel：03-3570-7505